

補助金評価シート

区分	重点・ <b>重点以外</b>	補助根拠	法令補助・ <b>その他補助</b>	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市商店街連盟補助金 市内商店街・商店会の連携強化を図りながら調査活動、情報提供、各種講演会開催などを行う新潟市商店街連盟に対する補助金						
款・項・目	商工費 商業費 商業振興費						
所属等	経済部 商業振興課 商業振興係 電話 025-226-1633						

年 度	平成29年度（1年目）	平成30年度（2年目）	令和元年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	2,100	2,100	2,100
	決算(千円)	2,100	2,100	2,100
補助率	32.7%	35.1%	定額（実行補助率未定）	
目 標	市内商店街の発展に資するための事業を実施し、魅力ある街づくりと組織の活性化を促進し併せて消費者の利便向上、商店街の近代化を図る。 <目標が数値でない場合の評価方法> 実績報告書等で事業の実施状況を総合的に判断し評価する。			
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回新潟市地域商業活性化フォーラムを、地域振興と商店街とテーマに開催した。</li> <li>・例年行っている年2回の歩行者通行量調査の他に、中央区役所移転に伴う歩行者通行量調査を3回実施し、中央区役所移転効果検証のためのデータとして活用した。</li> </ul> 以上、商店街の発展に資する事業の着実な取り組みがなされており、目標を達成している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回新潟市地域商業活性化フォーラムをキャッシュレスへの関心が高まる中、自治体ポイントを中心に開催した。</li> <li>・歩行者通行量調査を年2回実施し、商店街活性化のためのデータとして活用。</li> </ul> 以上、商店街の発展に資する事業の着実な取り組みがなされており、目標を達成している。	事業計画より、商店街の発展に資する事業への着実な取り組みが行われ、魅力ある街づくりと組織の活性化を促進し、消費者の利便性向上により、商店街、商店会の振興発展という目標達成が見込まれる。
補助事業者による情報の公表	総会資料など			

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input checked="" type="checkbox"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input checked="" type="checkbox"/>
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> <g～hにおける取組> 今後は補助金の成果をより分かりやすく検証するため、歩行者通行量調査の実施回数や各種研修会の開催数などの数値化を検討する。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
	① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） <b>② 継続</b> ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 新潟市商店街連盟への補助は必要であるため継続するが、定額補助の在り方について検討していく。				